

## Kanazawa University – 6th March 2015, 10:30~15:00

科目：研究プロジェクト企画・運営（「研究マネジメント」）

- 10:30 – 10:40 事業説明
- 10:40 – 12:00 ウォーミングアップ
- 参加者の自己紹介
  - 簡単なイントロダクション  
「ドイツの大学の改革&サイエンスマネジャー」
- 資料：<http://www.chemistry.or.jp/opinion/doc/ronsetsu1311.pdf>  
+ プレゼンテーションスライド（Part 1 + 2）
- 参加者の研究プロジェクト企画・運営（「研究マネジメント」）の経験：
    - 参加者は、問題が生じる日常の職務の一例を事前に考え、それについて3分以内の発表をする。（2～3つの例をグループで詳しくディスカッションを行う。ただし、似たような例がある可能性もあるので、例の内容に応じて行う。）
    - グループディスカッション
- 12:00 – 12:15 休憩
- 12:15 – 13:15 ドイツの大学での研究マネジメント
- ⇒ ケース 1：ケルン大学のマトリックス構造
    - 利点と課題点について、小さいグループでディスカッション（昼食中）
- 資料：プレゼンテーションスライド（Part 4）
- 13:15 – 13:20 休憩
- 13:20 – 14:20 ドイツの大学での研究マネジメント
- ⇒ 小さいグループでディスカッションの結果についての短いプレゼンテーション
  - ⇒ ケース 2：ドイツのエクセレンス・クラスターと、考えられる役割&シニア URA の関連するタスク
- 資料：プレゼンテーションスライド（Part 5）
- 14:20 – 14:30 休憩
- 14:30 – 15:00 フィードバック